

# 第13回大阪消防清風会総会 盛大に開催される

写真説明  
上 第13回総会  
下 なごやかな懇談風景

恒例の大阪消防清風会総会が十一月十一日午後三時から都島区綱島町の太閤園において会員二〇三名が参加して行なわれた。

定刻の午後三時に来賓の池田大政市長、大阪府下各消防長および大阪府消防局長、深澤局長以下各幹部が列席し、青木常務理事の司会により開会された。

総会に先立ち出席者全員が消防職員殉職者並びに、他界された先輩同僚の御霊に對して一分間の黙とうを捧げた。

はじめに飯田会長から清風会も発足以来会員数も年とともに増え事業も円滑に推進しておりますことは、ご来賓の皆様方をはじめ会員皆様方のご支援ご協力の賜ものであり、また大阪消防は逐年消防力の充実強化をはかられ、深澤局長のもとに全職員が総力を挙げて職務に邁進し輝かしい業績を残されていることは誠に喜ばしくご同慶にたえないとの挨拶があり、続いて来賓を代表して池田大政市長から消防協力会長から会員の皆様方は、永年にわたり都市防災に貢献され今日の伝統ある大阪消防を築かれたご功勞に対し深甚なる敬意を表すとともに今後とも一層のご指導ご協力をお願いいたしますとの祝辞をいただきました。

議事に入つた。

まず、事務局から昭和五十三年度事業報告並びに歳



入歳出決算報告(別表)があり、次に見玉監事から監査報告が行われた。続いて昭和五十四年度事業計画案並びに歳入歳出予算案について事務局から説明があり、満場一致で原案通り承認を得た。引き続き事務局から、昨年実施した記念誌「大阪消防三十年のあゆみ」のあつせん事業の取支を報告し、収益金三七三、六八八円を本会の終身会費積立金に投入される事での了承を得た。

最近の大阪消防の概況および厚生会発足二十周年記念事業の協力に対する謝意と、最後は先輩が築かれた伝統を守り消防の使命達成に職員一同が団結して災害のない明るい町づくりに努力するとの抱負が述べられ、第

一部総会は滞りなく終了した。引続いて第二部の懇談会に移り、飯田会長のあいさつのもと大島市長の代理として出席された道廣助役から、会員の皆様方は永年にわたり消防職員として職務に精励され大阪市の発展に貢献されたことについて、感謝の言葉と本会の今後ますますの発展をお祈りいたしますとのご祝辞をいただき、続いて高松副会長の発声により幹林し懇談に入った。会場は立席であつたがなごやかなふん囲気の中で昔話しに花が咲き時間のたつのを忘れるほどであつた。

最後に、枚方寮屋川組合消防本部の田中消防長の発声で万才三唱を声高らかに行い午後六時盛會裡に終了した。

大阪消防清風会報

(第15号)

発行  
大阪消防清風会  
大阪府西区新町丁目26番3号  
大阪市消防局内  
TEL.(06)531-0601(代)  
発行人 飯田 十

## 昭和53年度歳入歳出決算書

1. 歳入 1,399,238円  
1. 歳出 1,216,080円  
1. 差引残高 183,158円 (翌年度へ繰越)

款	項	目	予算額	収入済額	増△減	備考
1	会費		942,000	790,500	△ 151,500	
	1	定額会費	942,000	790,500	△ 151,500	
	2	終身会費	40,000	32,000	△ 8,000	
	3	過年度会費	123,000	189,000	△ 66,000	
	4	総会会費	9,000	2,500	△ 6,500	
2	雑入金		770,000	567,000	△ 203,000	
	1	雑入金	106,000	106,400	△ 400	
	2	補助金	106,000	106,400	△ 400	
	3	補助金	100,000	100,000	0	
	4	雑収入	100,000	100,000	0	
	1	雑収入	162,060	162,398	338	
	2	雑収入	70,000	80,000	10,000	
	1	広告料収入	92,060	82,398	△ 9,662	
	2	雑収入	239,940	239,940	0	
5	繰越金		239,940	239,940	0	
	1	繰越金	239,940	239,940	0	
歳入合計			1,550,000	1,399,238	△ 150,762	

款	項	目	予算額	支出済額	不用額	備考
1	会議費		845,000	543,910	301,090	
	1	総務	845,000	543,910	301,090	
	2	理事	770,000	510,000	260,000	
2	事務		75,000	33,910	41,090	
	1	需用	275,000	262,400	12,600	
	1	消耗品	105,000	50,700	54,300	
	2	備品	15,000	14,500	500	
	3	印刷製本	20,000	0	20,000	
	4	通信	70,000	36,200	33,800	
	5	通	170,000	211,700	41,700	
	1	通	170,000	211,700	41,700	
3	事業		267,500	252,270	15,230	
	1	連絡	235,000	218,000	17,000	
	2	印刷製本	85,000	70,000	15,000	
	3	印刷製本	150,000	148,230	1,770	
	4	雑	32,500	34,270	1,770	
	1	雑	32,500	34,270	1,770	
4	積立		102,500	157,500	55,000	
	1	積立	102,500	157,500	55,000	
5	予備		60,000	5,000	55,000	
	1	予備	60,000	5,000	55,000	
歳出合計			1,550,000	1,216,080	333,920	

### 終身会費積立金

項目	金額
昭和53年3月末現在高	495,700
昭和53年度積立金	157,500
預金	4,262
昭和53年度繰出金	106,400
差引昭和54年3月末現在高	551,062

## 叙勲に輝く人々

昭和五十四年、春、秋の生存者叙勲で、会員のうち、次の方々  
が受章されましたので紹介しお喜び申し上げます。

○春の叙勲 S 54・4・29



勲五等瑞宝章  
古謝安榮氏(七十一才)  
西成区梅南三十七  
1-30



勲六等瑞宝章  
浜田義一氏(七十二才)  
守口市馬場町三十一  
六六

○秋の叙勲 S 54・11・3



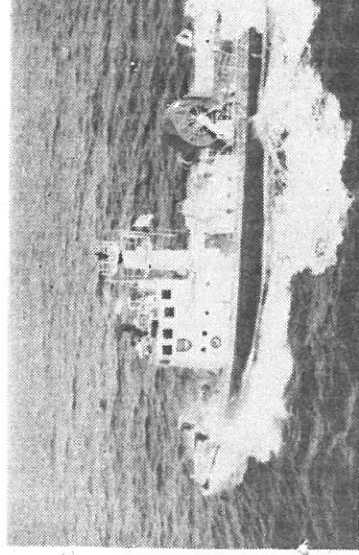
勲五等瑞宝章  
児玉敏義氏(七十二才)  
藤井寺市梅ヶ園町  
1-11-3



勲六等瑞宝章  
和田八郎氏(六十七才)  
豊中市新千里北町  
1-9-14



# 新鋭消防艇「なみはや」就航!!

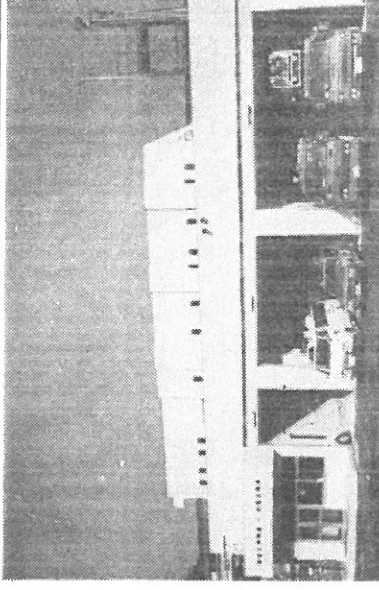


写真説明  
白波を蹴つて  
航行する  
「なみはや」

南港地区の開発に伴い、南港ポートタウンをはじめ大阪港への入港船舶の大型化、フェリー埠頭等港湾施設の整備、また大阪港沿岸の危険物施設などの災害に対する消防力の強化をはかるため、日本一を誇る新消防艇「なみはや」総トン数二三四・七三トン、全長二九・〇〇m、最大速力一五・四三ノットが十二月十九日に就航し南港出張所に配置されました。現在「なみはや」のほか「明光丸」と「さわ丸」が、大阪港の守りにつております。

# 南港地区に出張所竣工

南港地区は、近代港湾の整備と、大都市流通センターの整備および、新しい町づくりを柱として、昭和三十三年から造



成事業に着手し、すでに全国一を誇るコンテナ埠頭や、内港フェリー埠頭も完成として、大阪経済の動脈的役割を果たすとともに、緑地、公園など緑豊かな自然に恵まれたポートタウンの建設をめざし、すでに三五〇〇戸の近代的住宅が完成するなど、著しい発展を遂げております。これに伴って、当地域の消防力を強化する必要が生じ消防局では、本年度の事業として陸上、水上の防災機能を備えた出張所の建設に着手され、去る十月二十六日近代的な庁舎が竣工いたしました。

- 一、名称 住之江消防署南港出張所
- 二、所在地 住之江区南港中一丁目二番
- 三、構造様式 鉄筋コンクリート造平屋建延四〇二・〇五平方メートル
- 四、配置機械
  - タンク車 一台
  - はしご車 四二米一台
  - 救急車 一台
  - 消防艇 一隻

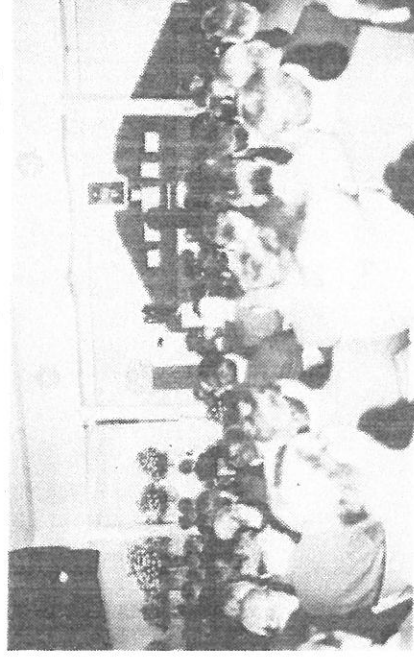
## 出初式の二案内

- ◎大阪市消防出初式
  - 一、とき 一月七日(日) 午前十時〇〇分
  - 二、ところ 北区毛馬塚の宮公園一帯
  - 三、参加機械 七〇台 二機 二門
  - 四、参加人員 一三〇〇名

## ◎水上出初

- 一、とき 一月十日(休) 午前十時三〇分
- 二、ところ 大阪港天保山水上消防署北側
- 三、参加部隊 一七隻、二機
- 四、参加人員 二八四名

# “松波消防士壮烈な殉職”



▲大阪市消防葬

昭和五十四年十月二十七日午前四時四十二分に発生した城東区諏訪二丁目、梅田文化住宅の火災において、城東消防署勤務、消防士松波政夫君二十九才が消火活

# 火災と損害賠償

佐々木 応 孝

火災の防壁の一手段に破壊防壁がある。然しノコギリやロープなどの破壊器具に依存する時期にはほとんど破壊防壁、火災防壁、火元責任の三つの損害賠償に関する三つの裁判所判決がありまして、この見直しを。一、昭和三十三年一月七日午前五時頃、岐阜県大野郡白川村、料理旅館業衣さん方風呂場付近から出火、隣接する家屋四十三棟が焼失した。この火災に際し、同村消防団長は、火勢、風向、風速等の気象状況、水利状況等から他の建物への延焼を防止するには、付近の建物等を破壊する以外には手段はないと判断、丁度近くにあった建設会社のアルド一を使用して、延焼をまねがれていたNさんから所有の建物九棟を破壊した。このためNさんは、「白川村消防団は、燃えなかった建物まで破壊したことは、合理的な判断を欠いており、破壊された建物の補償を、

火災の防壁の一手段に破壊防壁がある。然しノコギリやロープなどの破壊器具に依存する時期にはほとんど破壊防壁、火災防壁、火元責任の三つの損害賠償に関する三つの裁判所判決がありまして、この見直しを。一、昭和三十三年一月七日午前五時頃、岐阜県大野郡白川村、料理旅館業衣さん方風呂場付近から出火、隣接する家屋四十三棟が焼失した。この火災に際し、同村消防団長は、火勢、風向、風速等の気象状況、水利状況等から他の建物への延焼を防止するには、付近の建物等を破壊する以外には手段はないと判断、丁度近くにあった建設会社のアルド一を使用して、延焼をまねがれていたNさんから所有の建物九棟を破壊した。このためNさんは、「白川村消防団は、燃えなかった建物まで破壊したことは、合理的な判断を欠いており、破壊された建物の補償を、

判決をした。三、火元に賠償八百万円。隣家から出火した火災で、母親と赤ちゃんを失った遺族が、火元を相手に起こしていた損害賠償請求訴訟で、昭和五十二年十月九日午後、大阪地裁吉田裁判長は「ひびわれしたかまどを隣家に接してすつけ、使用していた重大な過失があることと遺族側の主張をほぼ認め、出水元の遺族に計約八百十

動中、突然崩壊した二階床面の下敷となって壮烈な殉職を遂げられました。なお、松波消防士は、同日付で二階級特進し消防司令補に昇進され、去る十一月二十六日午後二時から、市立南斎場において、深澤消防局長が葬儀委員長となり、大阪市消防葬が執行されました。葬儀には、大島市長、藤岡市会議長をはじめ一般市民、並びに清風会、マタの方々も多数参加され故人の冥福を祈りました。公葬に際し、清風会として供花を贈り弔意を表しました。過去、大阪市消防職員の殉職は、昭和三十五年、東消防署、故郷田司令補以来、足してから十三人目となります。

## 原稿募集

随想、俳句、短歌、川柳、その他(意見など)成功談でも失敗談でも何でも結構です。会員の皆様、ふるってどしどしご投稿ください。

火回会報は、来年十二月初旬頃、発行の予定でありますので、出来る限り十月末日までに、ご投稿ください。事務局

# 消したはず 消えたはずでももう一度

(本年度大阪市防火標語)

★消防展開催  
もし大阪を大地震が襲うなら……  
災害の様相と避難場所が一目でわかる電光パノラマを入口に掲げ「七九消防展」が十月二十五日から十一月三十日まで阪神百貨店で開催されました。

★第八回全国消防救助技術大会  
八月二十四日大阪市消防学校において全国からの精鋭八六五名が参加し、十七種目にあたる各競技に技を競い、本市代表選手は優秀な成績を取めた。

## 大阪市消防局幹部

局長	消防司令	深澤修
総務部長	消防正監	小川孝雄
総務課長	消防正監	酒匂憲之助
人事教養課長	消防監	馬越喜久男
消防学校校長	消防正監	杉村喜久男
総務部主幹	消防監	小川徳一
総務部主幹	消防司令	西山洋
予防部長	消防正監	中田傳彦
予防査察課長	消防監	本田勝彦
設備課長	消防正監	米谷重雄
危険物課長	消防監	能野昭一
予防部主幹	消防司令	松下保
予防部主幹	消防司令	石田繁三
警防部長	消防正監	荒木昭弘
計画課長	消防監	國本篤一
司令課長	消防監	高橋幹一
救急課長	消防監	谷口幸雄
警防部主幹	消防監	今西俊之
警防部主幹	消防監	太田信
警防部主幹	消防司令	滝本京作
警防部主幹	消防司令	森本吉彦
北消防署長	消防正監	中尾清一
都島消防署長	消防監	山本大吉
福島消防署長	消防監	中須賀一成
此花消防署長	消防監	大西輝和
東消防署長	消防正監	松本七郎
西消防署長	消防監	東博人
港消防署長	消防監	林田隆明
大正消防署長	消防監	造田肇
天王寺消防署長	消防監	榎野朝男
南消防署長	消防正監	山西朝明
西淀川消防署長	消防監	栄井上雅美
淀川消防署長	消防監	井上雅美
東淀川消防署長	消防監	恒遠将博
東成消防署長	消防監	十河勝美
生野消防署長	消防監	林勝美
旭消防署長	消防監	八幡定年
城東消防署長	消防監	矢ヶ部俊高
鶴見消防署長	消防監	大倉久雄
阿倍野消防署長	消防監	岡積勝雄
住之江消防署長	消防監	國貞拳吾
住吉消防署長	消防監	倉田幸義
東住吉消防署長	消防監	吉川幸一郎
平野消防署長	消防監	吉田美次
西成消防署長	消防監	座波清秀
水上消防署長	消防監	辰巳義雄





# 新会員紹介

氏名	住	電話	職業(会社名)	退職時の所属(年月)
竹之内厚吉	〒544 生野区生野西4丁目18-6	(06) 741-8049	同業	S53.1.29
村上純義	〒583 南河内郡太子町大字春日317-12	(07219) 8-2439	平野	S53.11.30
秀島勝己	〒532 淀川区西3丁目25-9	392-7120	家の	S53.12.13
吉井佐一	〒580 松原市美東8丁目5-13	(0723) 32-8322	関西住宅管理協会中央防共センター(06)968-2550	S52.6
中井敏夫	〒544 生野区舍利寺2丁目18-4	(06) 712-4936	日本清火器工業会大阪事務所(06)941-2033	S54.2.28
岩崎康定	〒592 堺市浜寺石津町5丁目11-12	(06) 61-9291	〃	S54.1.31
政田一孝	〒538 鶴見区今津中5丁目3-7	967-1790	〃	S54.1.31
寺山政治	〒542 天王寺区小宮町11-1	(06) 772-6329	〃	S54.2.28
西辻藤三郎	〒558 住吉区西長居町588-2-41	(06) 693-1843	〃	S53.11.21
尾崎正治	〒545 阿倍野区北高1-22-11	(06) 623-9496	〃	S53.10.25
藤井楠松	〒558 住吉区我孫子東1-12-1	(06) 698-1609	寺内株式会社	S54.1.31
石井清	〒571 門真市元町7-15	(06) 909-2356	〃	S53.12.2
高浦武男	〒598 泉南郡田尻町吉祥寺773-4	(0724) 65-2215	〃	S53.12.16
佐谷磐	〒535 旭区高蔵6-22-26	(06) 694-4813	〃	S54.9.26
戸田博介	〒619 京都府相楽郡精華町大字北福八高蔵一丁目519号	(07749) 4-5152	〃	S54.1.20
中田藤吉	〒636 奈良市生駒郡斑鳩町西留6丁目4-5152	(07457) 5-5690	〃	S54.1.20
野内清	〒547 平野区平野宮町2-9-13	(06) 792-8364	〃	S53.6.27
高津朝武	〒537 東成区大今里南2丁目19-21	(06) 972-3508	株式会社辰巳商会	S54.1.31
井川幸一	〒557 西成区松2丁目7-13	(06) 659-2788	〃	S53.9.30
松岡天文	〒581 八尾市大字黒谷972	(0729) 41-7113	〃	S54.1.31
和田八郎	〒565 豊中市新千里北町1-9の4	(06) 872-2758	〃	S42.1.12
柴田栄一	〒559 住之江区西住之江4-1-19	(06) 678-2144	(財)日本防炎協会	S54.6.30
立石一男	〒590 和泉市広野町617	(0725) 92-0989	大阪ターミナルビル(株)	S54.6.15
大隅周一郎	〒615 京都市西京区柳原宇治井西町9	(075) 381-2723	総務局市民部長	S54.6.2
西野正一	〒588 堺市福田210-73	(0722) 36-1356	KK朝日建物大阪支店	S54.1.4
奥田正治	〒533 淀川区宮原2丁目1-2	(06) 391-2814	〃	S54.9.30
梶正	〒564 吹田市内本町3丁目32-15	(06) 381-6124	〃	S54.3.31
藤井謙次	〒569 高槻市川西町2丁目5-2	(0726) 84-1080	〃	S54.3.31
植田義雄	〒709 岡山県赤松郡瀬戸町瀬戸446	(08695) 2-2634	〃	S54.3.31
吉岡正義	〒533 東淀川区山田町1000	(06) 322-6517	〃	S54.5.4
日高伸次郎	〒535 旭区高蔵6-22-26-424	(06) 955-0828	相川福祉センター(安積診療所内)(06)340-1977	S54.3.31
林幸夫	〒658 神戸市東灘区森北町2丁目3-21	(078) 431-1413	〃	S54.6.2
柏木晴男	〒554 此花区高見3丁目8-6	(06) 468-7237	〃	S54.6.30
田中正治	〒630 奈良市朝日町1丁目4-8	(0742) 43-4647	豊国産業KK	S54.4.30

# 会員住所等変更

支部名(旧)	支部名(新)	氏名	現住所	電話	職業	退職年月日
東	東	永松辰夫	〒540 東区上町1丁目2番3-63号	(07212) 8-4108		北成 S48.4
北河内	北河内	吉村善吉郎	〒576 交野市大野分館町2丁目35-18	(06) 762-5187		東 S44.3
東	東	辻江文雄	〒546 東区吉区菩提町1丁目9-15	(06) 720(93)1016		東任吉 S38.3
南河内	南河内	神尾善兵衛	〒586 河内長野市加賀田1680-169	(0721)62-2531		西成 S39.12
中河内	中河内	久多里光雄	〒584 富田林市大字東山150-56	(07212)5-7612	ヤンマーディーゼル(株)	港 S48.1
阪南	阪南	此見実	〒580 松原市東新町4丁目109-7	(0723)36-1561		東任吉 S47.6
阪南	阪南	宮田正二	〒586 河内長野市千代田南町10-10	(0721)53-4670		阪南 S21.1
南河内	南河内	内山登	〒583 住所同じ			S21.1
東	東	新島實	〒583 藤井寺市小山5丁目8-23		大阪港木材倉庫(株)	S53.4
北	北	細川留一	〒560 豊中市三国1丁目8-6	(06)332-4921		福島 S53.5
北	北	川村昇	〒563 豊能郡豊能町光風台5-8-14	(01)0727(38)1967		北 S44.10
西	西	佐々木忠孝	〒550 西区北堀江4-14-8	(06)538-0532		旭 S38.6
北河内	北河内	浜田義一	〒570 住所同じ			機 S29.6
中河内	中河内	新田利市	〒581 八尾市早島3丁目35	(0729)49-0059		港 S36.9

## 感想文

### 和田八郎

此度は不図も叙勲の榮譽を賜り、心から感激致して居る次第でございます。殊に十一月八日には、全国消防関係受章者の方々が、配偶者を伴い、宮中に参りし、新宮殿「豊明殿」に於いて連立の上、陛下に拝謁し、有難い御言葉を賜りましたことは、一そう感激を新にいたしました。

今後はこの榮譽を永久に忘れることなく、日常の生活の上で生かして行くことを念じております。幸に健康に恵まれて居りまして、老衰は足腰から始まることの謬もありません。と、体を練ることを念頭に、機会ある度に、歩く「速足」事を実行しております。

## 叙勲に浴して

### 古謝宏栄

この春の叙勲で、勲五等瑞宝章の受章に浴させて戴き身に余る光栄でただただ感謝感激のきわみでありま

去る五月十日、皇居豊明殿においての拝謁時の天皇陛下のお言葉は「皆さんがながい間、国または地域社会の為につくされた功績は極めて大きく、満足であり大事に」と仰せられました。拝聴いたし、自分の消防の歩みを顧りみ、果して有難きお言葉に値する功績があるかを勘案いたしますと、内心慚愧なるものがあります。

何となれば、在職期間一十八年四ヶ月と依願退職の私への破格の叙勲に対し、OB諸賢から、君は、さきに紅綬徽章を受章しているからと申されますが、それもシエーション台風に際して、署長以下署員全員が一丸となつて、人命救助、その他に活躍した昔時の功績表彰を、署長なるか故に代表して拝受したに過ぎないものと、確信するからであります。

ともあれ、今次榮譽の受章に導いていただいた、関係各位と同僚大方の並々ならぬ厚情に深謝致しますと共に、今後の余生は、より一層をこめての行動

## 岡松運送株式会社

運輸省免許  
一般区域貨物自動車運送事業

社長 岡松武男

☆本社 福島区海老江六一〇の六  
電話 四四五二二九九八

☆豊里車庫 東淀川区豊里三番丁四四六  
電話 四三三二九四七五六

☆棋津営業所 棋津市昭印町十一一八二三  
東謙興業(株)内岡松運送  
電話 七三三二二八八九六三

## 建物の総合管理

(昭和43年9月1日創立)

- ★定年退職後のあなたの……
- ★消防の経験を活かせる……
- ★安定した職場です。

(事業所は大阪市内)

### 大阪防災管理株式会社

社長 赤井次郎 (元大阪市消防局長)  
大阪市西区本町1丁目6番2号  
(地下鉄四ツ橋線 本町駅下車)  
TEL 06(531)2714(代)  
自宅 06(797)1525  
担当 荒山貞夫  
気軽に相談ください。

## メンズヤギ

高級紳士服御誂 専門店  
高級既製服

TEL (06) 352-3651  
北区天満3丁目3-14

## 社団法人 大阪市防火管理協会

会長 小林 洋  
副会長 氏平 幸成

昭和54年11月10日死亡  
坂下新一  
昭和54年10月29日死亡  
昭口哲次氏  
昭和54年9月24日死亡  
小笠原敏夫氏  
昭和54年9月13日死亡  
中島昭氏  
昭和54年8月2日死亡  
山内信氏  
昭和54年7月5日死亡  
山内信氏  
昭和54年7月5日死亡  
浜尾令交氏  
昭和54年4月6日死亡  
中野栄氏  
昭和54年3月30日死亡  
止吉郎氏  
昭和54年2月24日死亡  
大町信三氏  
昭和54年2月16日死亡  
葛崎政治郎氏  
昭和54年1月5日死亡  
石塚田太郎氏  
昭和53年12月1日死亡  
奥山茂樹氏  
昭和53年11月26日死亡  
植田勲氏  
昭和53年11月23日死亡  
山田繁雄氏  
叙す  
從五位勲五等瑞宝章に  
昭和53年11月11日死亡  
昭和三十九年十一月十一日死亡  
岩浅友一氏  
の意を表しました。